

項	重点目標	具体的な取り組み	取組状況・成果・課題	4段階評価	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等	
一人一人の自立に向けた力を伸ばす	特色ある神戸の教育を更に発展させる	集団の中で自分を高めよう 友達と力を合わせ学力を伸ばす	一人一人に応じたきめ細かな指導の充実 (複数指導、別室指導を活用した つまづきのある生徒への学習支援)	学ぶ力・生きる力支援員、新学習システムの活用によって 複数指導や別室指導でつまづきのある生徒、配慮を要する 生徒に対する支援を行った。	B	パワーポイントなどを活用した ICTの活用や発問の工夫。生徒 個々の特徴を把握しての指導を 行う。	行事の精選、授業時間の確保が課 題である。また、そうすることが働き 方改革にも通じると思われる。
			確かな学力の育成 (「協同的な学び」を取り入れた学習活動の充実)	校内の授業研修を行った。主体的・対話的で深い学びを 意識した学習指導により力のつく授業に努めたが、十分な 学力が付いたとは考えていない生徒が見られる。	B	校内研修を実施し、授業改 善に努める。	
			伝統文化の教育や地域学習の推進	国語科・社会科・音楽科・家庭科などで日本の文化につい て取り上げたり、神戸について学んだ。	A		
			広い視野に立ち学ぶことができる生徒の育成	NIEなどによる社会に開かれた授業を行っ た。	A		
			特別支援教育の充実 (特別支援教育コーディネーター、学校生活支援教員、 スクールカウンセラーとの連携に立った生徒の支援)	支援を要する生徒のそれぞれに何が 必要かを見極め、支援を行った。	A	特別支援学級、通常学級 ともに生徒の状況を職員 で十分に共有する。	
	人の喜び悲しみの わかるくらしかたを する 命を大切にし 体を強くする	いじめ防止 (いじめ防止基本方針を中心にした防止対策と 発生した場合の対応)	いじめアンケートやカウンセリングなど でいじめの把握と指導につとめた。	A	アンケート、カウンセリング、教員による生 徒の観察などを通して実態の把握に努め る。いじめを起こさせない心の教育を行う。	いじめや自殺が報じられている。丁 寧な対策をしてほしい。	
		外部講師による多様な教育 (性教育、キャリア教育など)	性教育デリバリー授業、NIEの新聞記者派 遣、防犯教室など多様な授業を行った。	A		外部講師を十分活用して 教育を充実させてほしい。	
		部活動の充実	部活動のガイドラインに基づき新たなルールの下で取り組 んだ。部の精選によるきめ細かな指導が必要。	B	顧問の指導の共通理解を行う。		
		道徳教育の充実	教科化に向け、授業時間の確保に努めた。 授業改善が必要である。	B	道徳の授業、評価について研修 を行う。		
		スクールカウンセラーの活用 カウンセリング週間の充実	定期的にかウンセリング週間を設けて生徒の状況の把握 と指導に努めた。昨年度に比べスクールカウンセラーの 利用が増えた。教員に相談しやすくないと感じている生徒 が多い。	B	機会を見つけてチャンスカウ ンセリングを行う。	相談しやすい体制づくり、雰囲気 づくりを進めてほしい。	
魅力高め る 教職員 と 実力 を 学校 の	校内研修の充実	サービス、人権研修の充実	サービス・体罰・セクハラなどの研修を実 施した。	A	必要に応じて研修を行う。		
		特別支援教育の研修の充実	年度当初と必要に応じて適宜研修、情報交換を行い教員 の力をつける取り組みを行った。	A	年度当初に支援を要する生徒についての 対応について研修を行う。		
		OJTによる若い教員への指導	若手教員に対して、学年の教員を始め全教員で状況に応 じて指導を行った。特に8年目研修の該当者には若手教 員に対する指導が課題として課せられた。	A	若手教員に対して適宜指導 を行う。		
共 に 支 え る 子 民 が 自 ら の 学 び を	学校からの情報発信	ホームページの充実	行事を中心に積極的に更新した。	A	多くの教員が更新をできるように 研修を行う。		
		学校だより、学年だより等による情報発信	学校だより、学年だよりにより、学校の取り組みを積極的 に発信した。	A			
	家庭・地域との連携	地域行事への生徒の参加の促進	左義長、クリーン作戦等の地域の行事に、参加を促した。	A	部活動単位での参加が多かったが、個々 の生徒で参加できるように指導する。	地域として行事の参加に期待している。忙しいが 部活単、個人単位で参加してほしい。	
		PTAとの連携による生徒の学習環境の改善	PTA、生徒会懇談会を持ち、お互いに生の声を伝え合う機 会を作り環境改善に生かした。	A			